



本資料は IAQG OPMT が作成した NOTICE を和訳したものである。日本語訳は参考和訳であり、英文と相違がある場合は、英文が優先される。

国際航空宇宙品質グループ
第三者認証管理チーム

2022年3月22日

通知:

ロシア連邦とウクライナの紛争

IAQG 第三者認証管理チーム (OPMT) は、ロシアとウクライナの紛争が続く中、IAQG 執行委員会が 2022 年 3 月 9 日付の連絡で合意した措置を実施するため、この通知を発行した。この通知は、IAQG OPMT レゾリューション 161 の制定により認可され、IAQG 執行委員会が必要な措置を更新するまで有効である。

1.0 適用範囲

本通知は、IAQG 航空宇宙及び防衛分野の業界による監視制度 (ICOP) スキームのすべての関係者に適用される。IAQG は、すべての利害関係者が、2022 年 3 月 9 日の IAQG 執行委員会及びこの通知において合意された対応に従うことを期待する。IAQG は、2022 年 3 月 9 日の IAQG 執行委員会で合意された措置が実施されない場合、ICOP スキームの利害関係者の地位を変更する権利を有する。

NOTE: EU の制裁に沿って、IAQG メンバーの各国政府により公布された適用可能な輸出入規制を超えることは、IAQG の意図ではない。

2.0 AQMS 認証組織及び AQMS 認証をサプライヤ承認に利用している組織への本通知の影響

- 2.1 2022 年 3 月 9 日 IAQG 執行委員会により合意された措置の結果、及び本通知により、ロシア連邦内に所在する又は敷地を有する航空宇宙品質マネジメントシステム (AQMS) 認証組織は、IAQG により認識された AQMS 認証を有さないこととなる。IAQG に認識されなくなった AQMS 認証は、IAQG On-line Aerospace Supplier Information System (OASIS) データベース内で一時停止されたものとして表示されます。ロシア連邦所在の認証機関 (CBs) は ICOP 認証スキームから一時停止される。加えて、ロシア連邦内に居住する AQMS 審査員も、IAQG ICOP 認証制度から審査員資格を一時停止される。
- 2.2 サプライヤ承認プロセスの一部として AQMS 認証と OASIS データベースを使用している IAQG メンバー会社およびその他組織は、ロシア連邦に所在する、または拠点を有する、一時停止または取り消された AQMS 認証組織は、IAQG によって有効ではなく、または、認識されていないことを理解しなければならない。これらのサプライヤの継続使用については、組織または IAQG メンバー会社の決定であり、本通知の適用範囲外である。

3.0 認定機関への要求事項

- 3.1 認定機関 (AB) は、その主たる事務所がロシア連邦に所在しているか、もしくは、ロシア連邦に所在する以上の物理的又は仮想的サイトで AQMS 認証書を発行しているすべての IAQG ICOP スキームで認定された認証機関 (CB) を特定しなければならない。
- 3.2 CB の主たる事務所がロシア連邦に所在する場合、AB は 2022 年 4 月 1 日までにスキームの認定を一時停止する決定を行わなければならない。
- 3.3 CB がロシア連邦に位置する 1 つ以上の物理的または仮想サイトで AQMS 証明書を発行した場合、AB は、発行された AQMS 証明書がロシア連邦の団体またはサイトを含まないことを確保するために、2022 年 4 月 1 日以前に認定の地理的な適用を停止する決定を行わなければならない。
- 3.4 一時停止は、決定後 6 ヶ月以上継続してはならない。一時停止期間が 6 ヶ月を超える場合は、各 AB は、IAQG ICOP スキームにおける、認定の取消し、もしくはロシア連邦に対する地理的な適用を取消すための決定を行わなければならない。

4.0 認証機関への要求事項

- 4.1 認証機関 (CB) は、ロシア連邦にある 1 つ以上の物理サイトまたは仮想サイトに対するすべての AQMS 承認を特定する。
- 4.2 CB は、2022 年 4 月 1 日以前に、ロシア連邦に所在する 1 つ以上の物理的または仮想サイトに対する AQMS 認証を一時停止する決定を行わなければならない。
- 4.3 CB は、AQMS 認証に対する中央機能がロシア国内にないサイトの AQMS 認証からの削除を行なうための特別審査を行なってもよい。組織の AQMS がすべての適用可能な要求事項に対して適合していることを実証することができ、ロシア国内に物理的又は仮想的にサイトが存在していない場合、CB は、認証からサイトを除いた、一時停止した認証を回復する決定をしてもよい。
- 4.4 一時停止は、決定後 6 ヶ月以上継続してはならない。一時停止期間が 6 ヶ月を超える場合、CB は AQMS 認証を取消すための決定を行わなければならない。
- 4.5 ロシア連邦内のすべての AQMS 審査および認証活動は、直ちに中止しなければならない。

5.0 審査員資格証明機関への要求事項

- 5.1 審査員資格証明機関 (AAB) は、ロシア連邦内に存在するすべての ICOP スキーム認証済の審査員を識別するものとする。
- 5.2 AAB は、2022 年 4 月 1 日以前にロシア連邦内に居住する審査員の AQMS 資格証明を停止する決定を行うものとする。
- 5.3 AAB は、ロシア連邦内に居住する審査員からの新しい AQMS 審査員申請、または審査中の AQMS 審査員申請を拒否しなければならない。



5.4 一時停止は、決定後 6 ヶ月以上継続してはならない。一時停止期間が 6 ヶ月を超える場合、AAB は AQMS 審査員資格を取消するための決定を行わなければならない。

6.0 研修提供者承認機関への要求事項

- 6.1 研修提供者承認機関 (TPAB) は、ロシア連邦に拠点がある、もしくは、ICOP スキームの承認された研修コースをロシア連邦内に提供する研修提供者(TP)を特定しなければならない。
- 6.2 TP の事務所がロシア連邦にある場合、TPAB は 2022 年 4 月 1 日までに IAQG ICOP スキームに対する TP の承認を停止する決定をしなければならない。
- 6.3 一時停止は、決定後 6 ヶ月以上継続してはならない。停止期間が 6 ヶ月を超える場合、TPAB は TP 承認を取り消す決定をするものとする。
- 6.4 TPAB は、ICOP スキームに関連する TP または研修コースの承認プロセスにおいて、ロシア連邦内に居住する職員を使用してはならない。

7.0 研修提供者への要求事項

- 7.1 研修提供者 (TP) は、ロシア連邦内で、物理的にも仮想的にも、ICOP スキーム承認の研修コースを提供してはならない。
- 7.2 TP は、ロシア連邦内に居住する職員を、ICOP スキーム承認の研修コースの開発、実施又は運営に使用してはならない。

8.0 OP 監査員及びオーバーサイトに対する要求事項

- 8.1 OP 監査員は、この通知に関連する適用可能な一時停止及び/又は取消しが効果的に実施されていることを確認する以外は、ロシア連邦に所在するいかなる団体に対してオーバーサイトを実施してはならない。これらのすべての確認は、ロシア連邦内のいかなる機関においても現地で行われてはならない。
- 8.2 ロシア連邦内に居住する OP 監査員は、OASIS データベースから取消しされ、オーバーサイト活動の実施に活用されてはならない。

エリック・ジェフリーズ
IAQG OPMT 議長



変更の概要:

日付:	変更:
2022-03-22	新規ドキュメントとして発行。